

川根地区中高連携だより

川根地区連携型中高一貫教育協議会

■ 会長あいさつ

関係する皆さま方には、日ごろから川根地区連携型中高一貫教育の活動に対しまして、多大なる御理解と御支援をいただき、心より感謝申し上げます。

本連携型中高一貫教育は、豊かな自然と文化に恵まれた川根地区の特性を生かし、地域の未来を担う有為な人材の育成を目指し、平成14年度から始まり、今日まで充実した教育活動を展開しております。具体的に「地域に根ざした教育」「多様な生徒への対応」「伸び伸びとした活力ある学校」「新しい社会への対応」の四つを柱としています。本事業において大切なことは、これらの理念を実際に連携する合同事業の時だけでなく、普段の学校活動においても、自校の育てたい生徒像や経営計画としっかりと重ね合わせ、有機的なつながりを持たせることだと考えます。

今、青少年に最も読ませたい本、吉野源三郎さんの「君たちはどう生きるか」の中に「水が酸素と水素から1と2の割合でできることは説明できても、冷たい水の味がどんなものかという、もう君自身が水を飲んでみない限り、どうしたって君にわからせることはできない。」という一節があります。連携型中高一貫教育の素晴らしさも、この言葉同様確かな体験が鍵と考えます。中学生がともに活動する中で、異なる見方、感じ方を実感し、成長につながるのです。まさに体験したものだけが味わえる本物の学びです。こうした「よさ」に対して、あらためて我々は自覚的にならねばなりません。そのうえで、この連携型中高一貫教育を継承、発展させることが肝要と考えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(川根高校 校長 須藤隆広)

■ 30年度の主な事業予定

4月	交流授業開始
	春季合同研修会(教職員の研修)
6月	川根高校南麓祭への中学生の参加
	連携中でのあいさつ運動
	連携中での中体連に向けた激励会
7月	夏季川根講演会
	中学生の川根高校一日体験入学
9月	連携中体育大会への川高生の参加
10月	中中・川中文化発表会への川高生の参加
11月	本中文化発表会への川高生の参加
	秋季合同研修会(教職員の研修)
1月	冬季川根講演会
2月	川根の郷の夢を語る会(中高生の交流会)

今年度は、生徒・教員の交流の更なる充実を図り、連携型中高一貫事業の一層の進化及び深化をさせるため、設置されている交流授業、授業公開、川根の郷の夢を語る会、生徒交流の4委員会の活動を活発化させる方針を柱とします。

教職員が集まる中高合同研修会に時間を設け、前年の成果と課題を確認し、改善案や具体策を検討します。各委員会によって異なりますが、更に年間2回程度の委員会を開催し、議論を深めます。会の内容や活動を合同研修会で発表し、共有を図ることで多様な交流活動を通じて生徒の交流を推進します。

■ 春季合同研修会 5月1日(火)

中高合同研修会は、春と秋の年2回、連携3中学校と高校の教職員が一堂に会する研修です。今回の春季合同研修会では、中高の職員に加え、静岡県・島田市・川根本町の教育委員会を招いて行われました。全体会では、今年2月にチャリムで開催された島田信用金庫主催「高校生



による地方創生研究発表会」で発表した内容を3年生3人、来賓と教職員の前で立派に再現しました。川根地区連携型中高一貫教育の説明の後、2月に京都で行われた「全国中高一貫教育研究大会」の報告がありました。その後、4委員会と、養護教諭の情報交換を行いました。どのグループも活発な意見交換があり、今後に向けて大きな収穫となりました。



■ 交流授業（年間通して）

川根高校の教員が連携中学校へ、連携中学校の教員が高校へ出向き、TT（ティームティーチング）の授業を行っています。今年度は、本川根中学校で保健体育、英語、中川根中学校で国語、数学、保健体育、川根中学校で保健体育、川根高校では、数学、保健体育の授業で実施しています。

本川根中学校の星野紘平教諭は、川根高校で1年生の数学Ⅰの授業でTTを行っています。「交流授業では昨年まで教えていた生徒の頑張る姿や、川高生が一生懸命に学習に取り組む姿を見ることができます。また中学と高校の数学の違いなどを学ぶことができ、中学での授業づくりの参考になっています。川高生はみんな廊下で会うと気持ちの良い挨拶をしてくれたり、本中出身の生徒が話しかけたりしてきてくれるので、毎週とても楽しい時間です。」と感想を述べています。

また、中川根中学校で数学を担当している川根高校の近藤慎司教諭は「早い段階から高校を意識した考え方を育むことができ、目標がより明確になることで勉強に対するやる気の向上により影響が出る。高校の授業においても、生徒の知的好奇心を刺激できるような工夫を凝らしたい。」と話しています。また、「中学生の無邪気ではつらつとした様子を見るたびに、自分の心が洗われるような気がする。細かなことに疑問を持ち、真剣に解法を試行錯誤する姿からは、正に”無限の可能性”を感じる。」とも語っています。



■ 南麓祭(文化の部) 6月2日(土) 校内発表の日



私たちは、南麓祭で連携中学の川根中学と川根高校との合同演奏をさせていただきました。3校が一緒に行う練習は、普段とは全く違う大人数で、自分にとっても音楽部のチームにとっても、とても貴重な時間となりました。同じパートの同級生や先輩からアドバイスをもらったり、励まし合ったりしながら、練習を通して、心を通い合わせることもできました。正直、3校が一緒にそろって行う機会は少なく、当日、合わせる事がとても心配でした。しかし、その不安は当日のダイナミックな演奏で、全く無くなり、思い切り楽しむことができました。3校で演奏する良さを体全体で感じ、この感動をこれからの自分

たちのパワーへと変えていきたいと思いました。

(中川根中学音楽部部長 下原灯理)

私は、南麓祭で川根高校吹奏楽部のみなさんと中川根中の音楽部のみなさんと一緒に演奏させていただきました。普段は少人数で演奏をしているため、今回の大人数での演奏はいつもとは違った楽しさを感じることができました。

また、高校生の演奏を聴いて、少ない人数でもとても迫力のある演奏だったので、私たちも高校生のみなさんのような演奏ができるようにがんばっていきたくておもいました。このような機会をいただき、ありがとうございました。

(川根中学校吹奏楽部部長 丸山華帆)



■ 6月11日(月) あいさつ運動



各中学校を卒業した高校生が、自分の母校を訪れあいさつ運動を行いました。登校してきた中学生は、高校生となった先輩の顔を見て驚きながらも高校生のあいさつに答えている姿が何とも微笑ましく感じられました。また、高校生も久しぶりに恩師と会い近況の報告をすることができ、自分の成長を確認することができたと思います。短い時間のあいさつ運動ですが、「誰に対しても気持ちのこもったあいさつができる連携校の生徒」を大切に、笑顔で溢れる川根地区を目指していきます。

(川根高校生徒課 増田健史)

川根地区連携型中高一貫教育協議会

連携校(静岡県立川根高等学校、川根本町立本川根中学校、川根本町立中川根中学校、島田市立川根中学校)
事務局：川根高校 TEL57-2221 E-mail:kawane-h@edu.pref.shizuoka.jp 御意見をお待ちしております。